

大学・大学共同利用機関等における 独創的・先端的基礎研究の推進

- 大学・大学共同利用機関等において、研究者の自由な発想に基づく、世界をリードする研究成果を生み出す独創的・先端的な基礎研究を推進
- このような基礎研究を、全国の大学等から研究者が集って、施設・設備や学術資料等を共同で利用し、効果的な共同研究を進める我が国独自の学術研究システムである全国共同利用体制により推進

平成19年度における主な事業

「スーパーカミオカンデ」によるニュートリノ研究の推進

〔東京大学宇宙線研究所・高エネルギー加速器研究機構〕

ニュートリノの質量の有無を精密検証するため、スーパーカミオカンデ(岐阜県飛騨市)により、宇宙から飛来するニュートリノ観測実験を推進する。

(19年度予算案 646百万円)



アルマ計画の推進〔自然科学研究機構(国立天文台)〕

日本(国立天文台)、米国及び欧州の3者の国際協力により、銀河や惑星等の形成過程を解明することを目的として、チリのアタカマ高地(標高5,000 m)に80台の電波望遠鏡等の建設・運用を行う。

(19年度予算案 3,979百万円)

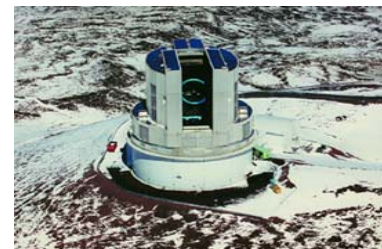
※本体建設費を計上



「大型光学赤外線望遠鏡『すばる』」による天文学研究の推進〔自然科学研究機構(国立天文台)〕

米国ハワイ島マウナケア山頂に建設した口径8.2mの「大型光学赤外線望遠鏡『すばる』」により、宇宙の涯に挑み、銀河が誕生した頃の宇宙の姿を探る。

(19年度予算案 3,234百万円)



大強度陽子加速器(J-PARC)計画の推進〔高エネルギー加速器研究機構〕

高エネルギー加速器研究機構と日本原子力研究開発機構が共同で、世界最高レベルのビーム強度を持った陽子加速器を建設。原子核・素粒子物理学、物質・材料科学、生命科学等広範な研究分野の新展開を目指す。

(19年度予算案 8,910百万円)

※本体建設費を計上



「大型ヘリカル装置(LHD)」による核融合科学研究の推進

〔自然科学研究機構(核融合科学研究所)〕

我が国独自のアイデアに基づく超伝導コイルを用いた「大型ヘリカル装置(LHD)」により、核融合炉に必要なプラズマ研究を広範に行う。特に、高温プラズマに関する研究を一層推進するため、加熱パワーの増強を図る。

(19年度予算案 5,228百万円)

